

令和3年度の「かしわば五心」の捉え方

学校教育目標

**かしわば五心を働かせ、気づき、判断、行動する南っ子の育成
～地域とともにある南校へ～**

かしわば五心

感じる心

南っ子が目指す姿（イメージ）

- ◎正しいこと・間違ったことが分かる。
- ◎友達のよさに気づき、素直に認め合う。

思いやる心

南っ子が目指す姿（イメージ）

- ◎友達の立場になって考え、行動できる。
- ◎相手を励ます、元気づける言葉かけができる。

耐える心

南っ子が目指す姿（イメージ）

- ◎諦めず最後までやり遂げる。
- ◎自分の心に負けない。

律する心

南っ子が目指す姿（イメージ）

- ◎学校や学級のルールを守る。
- ◎善悪を判断して行動する。

表現する心

南っ子が目指す姿（イメージ）

- ◎自分の思いをはっきり伝える。
- ◎自分からあいさつできる。

* 今後は、この「南っ子が目指す姿」を意識した取組を進めていきます。
「かしわばの輝き」に推薦する場合も、評価基準として活用します。

めざす子ども像

- ふるさとを愛する子ども
- 命を大切にする子ども
- よく聴き、伝え合う子ども
- 気づき、行動する子ども

めざす学校像

- 地域とともにある学校
- あいさつが飛び交う学校
- 愛情と信頼に満ちた学校
- 美しく整備された学校

めざす教職員像

- 気づく教職員
- 行動する教職員
- 謙虚に学ぶ教職員
- 保護者、地域に関わる教職員